

SIRシリーズ 施工手順書

◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。



警告



禁止

- ◆製品の分解・改造はしないでください。
⇒火災・感電・故障の原因となります。

- ◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。
⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。



必ず守る

- ◆結線は所定の方法で、確実にこなってください。
⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。

- ◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者がこなしてください。
⇒火災・感電・故障の原因となります。

- ◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。



注意



禁止

- ◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。
⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。

- ◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。
⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。

- ◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。
⇒製品の破損・故障の原因となります。

- ◆床暖房が施されている床に施工する場合はボックス内の結露に十分ご注意ください、熱源からの距離を確保してボックス内温度が-10～+40℃を超えないようご使用ください。
⇒漏電・感電・火災の原因となります。



必ず守る

- ◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。
⇒火災・感電・故障の原因となります。

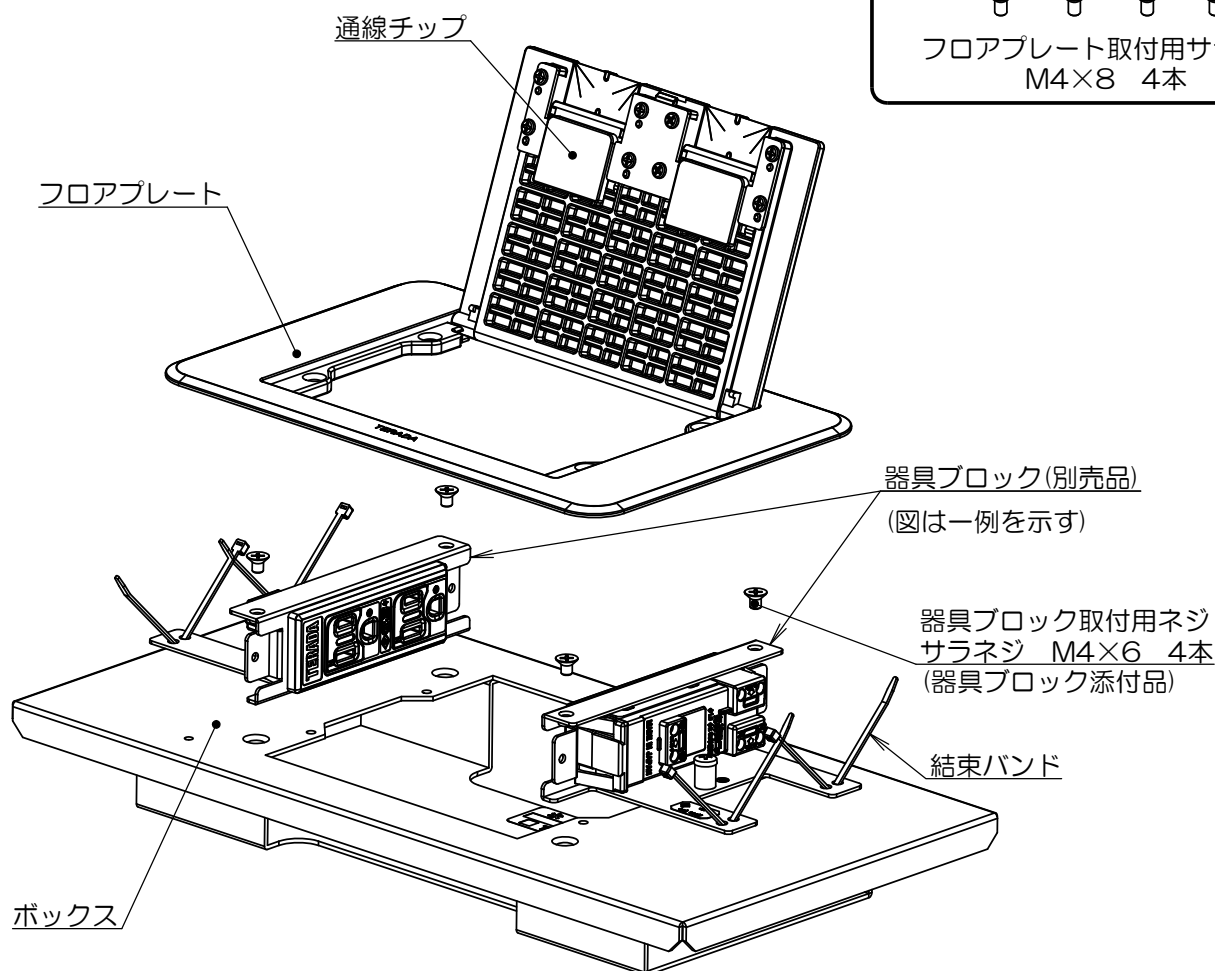
- ◆各取付ネジは確実に固定してください。
⇒製品の破損・故障の原因となります。
(インパクトドライバーの使用不可)

◆部品構成と名称

添付品



フロアプレート取付用サラネジ
M4×8 4本



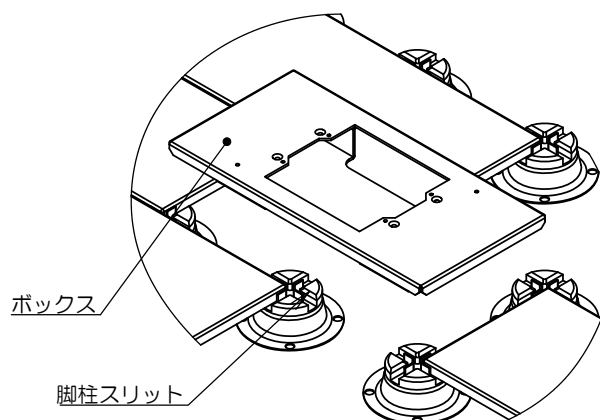
◆注意◆

- ・スライドボタンは、ドライバー等で強く押さないでください。
破損・機能不良の原因となります。
- ・取付用ネジは、定期的に増し締めを行ってください。

施工方法

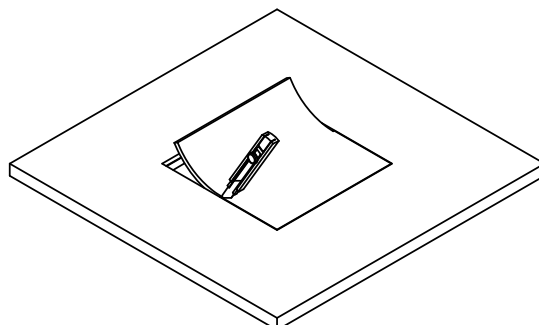
1 ボックスの設置

ボックスの四隅をOAパネルの脚柱スリット部へ差し込み、ボックスを固定してください。



2 仕上げ材の開口

床仕上げ材を指定寸法に開口します。
開口寸法は124～128×184～190



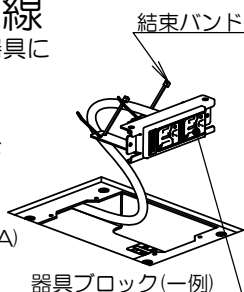
3 器具ブロックの結線

ケーブルを床下から引き出し、配線器具に接続してください。

配線方法については、各コネクタの配線方法に従って行ってください。強電系器具ブロックにはアースネジを付けてあります。

必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。
※情報用モジュラジャック(CAT.5E/6/6A)の専用成端工具は付属しておりません。

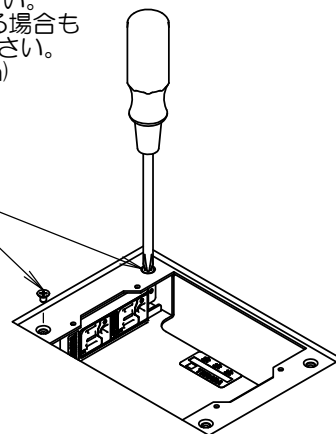
※ケーブルは張力が掛からないよう結束バンドで固定してください。



4 器具ブロックの固定

器具ブロックを添付のサラネジ2本でボックスに固定してください。対面へ器具ブロックを取り付ける場合も3と4の手順を同様に行ってください。(推奨締め付けトルク：0.8N・m)

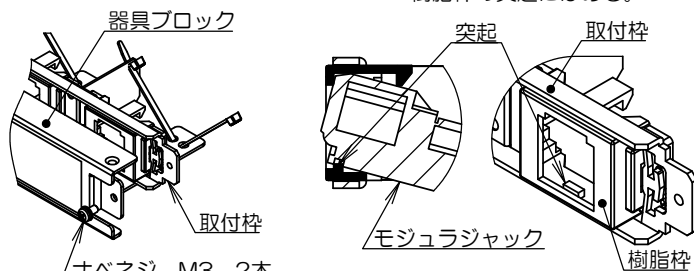
器具ブロック取付用ネジ
サラネジ M4×6 2本
(器具ブロック添付品)



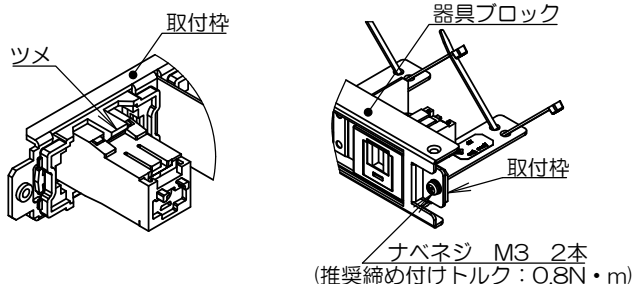
モジュラジャックの結線について

モジュラジャックを器具ブロックへ取り付ける際は、下図の様に固定してください。

1. 器具ブロックから取付枠をはずす。
2. モジュラジャックを傾け樹脂枠の突起にはめる。



3. ツメで固定する。
4. 取付枠を器具ブロックに取り付ける。



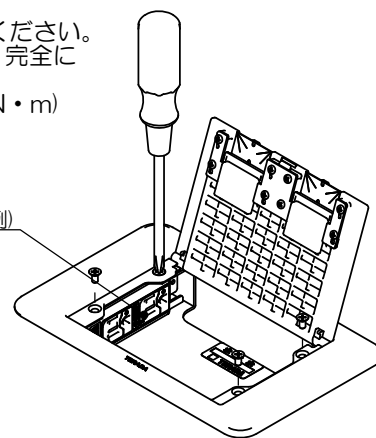
(推奨締め付けトルク：0.8N・m)

5 フロアプレートの固定

フロアプレートを添付の取付用サラネジ4本で固定してください。

向きは必ず図のようにしてください。フタを「パチン」と鳴るまで、完全に閉じてください。(推奨締め付けトルク：0.8N・m)

器具ブロック(一例)



■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361